

名 称	交差名	所在地	架設年次 (昭和)	耐荷荷重 (t)	上部工		下部工	橋長 (m)	幅 員				最 大 支間長 (m)	径間数	
					構造型式	使用材料			車道 (m)	歩道		中央帯 (m)			路肩 (m)
										左(m)	右(m)				
梅ノ橋	河川 浅野川	東山1丁目 562	53年	3	I 桁	鋼橋	直接基礎	63.0	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	22	3



正面



側面



2 浅野川梅の橋 ●昭和53年

「橋」は人々の日常生活の利便性を確保するとともに周辺の街なみに影響を与えている。金沢は「森と水の都」「緑と清流の街」と言われ、犀川、浅野川をはじめ街なかを縦横に流れる用水は、まさに金沢の文化を育んできた。

清流に架かる「橋」づくりは技術的、機能的な検討は当然のことながら、都市景観上も重要な役目を担っている。水面に映しだされる表情は街なみと共に人々に潤いと安らぎを与えている。



◀梅の橋ライトアップ